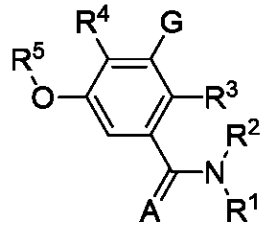
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和４年１２月９日(２０２２.１２.９)

【国際公開番号】ＷＯ２０２１/１５３７２０
【出願番号】特願２０２１-５７４１４２(Ｐ２０２１-５７４１４２)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｃ２３５/４６(２００６.０１)
Ｃ０７Ｃ３１１/０９(２００６.０１)
Ａ０１Ｐ　５/００(２００６.０１)
Ａ０１Ｐ　７/０２(２００６.０１)
Ａ０１Ｐ　７/０４(２００６.０１)
Ａ０１Ｎ３７/４０(２００６.０１)
Ａ０１Ｎ４１/０２(２００６.０１)
Ａ０１Ｎ４７/０６(２００６.０１)
Ａ０１Ｎ４７/１２(２００６.０１)
Ａ０１Ｎ４３/３８(２００６.０１)
Ａ０１Ｎ４３/５６(２００６.０１)
Ａ０１Ｎ４３/６５３(２００６.０１)
Ａ０１Ｎ４３/２８(２００６.０１)
Ａ０１Ｎ４３/３４(２００６.０１)
Ａ０１Ｎ４７/０２(２００６.０１)
Ａ０１Ｎ５３/１４(２００６.０１)
Ａ０１Ｎ４７/３０(２００６.０１)
Ａ０１Ｎ４７/１６(２００６.０１)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｃ２３５/４６　　ＣＳＰ
Ｃ０７Ｃ３１１/０９
Ａ０１Ｐ　５/００
Ａ０１Ｐ　７/０２
Ａ０１Ｐ　７/０４
Ａ０１Ｎ３７/４０
Ａ０１Ｎ４１/０２
Ａ０１Ｎ４７/０６　　Ｚ
Ａ０１Ｎ４７/１２　　Ａ
Ａ０１Ｎ４３/３８
Ａ０１Ｎ４３/５６　　Ｂ
Ａ０１Ｎ４３/６５３　　Ｂ
Ａ０１Ｎ４３/２８
Ａ０１Ｎ４３/３４
Ａ０１Ｎ４７/０２
Ａ０１Ｎ５３/１４
Ａ０１Ｎ４７/３０　　Ｅ
Ａ０１Ｎ４７/１６　　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】令和４年１２月１日(２０２２.１２.１)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
一般式［Ｉ］
【化１】



［Ｉ］

［式中、
Ａは、酸素原子又は硫黄原子を示し、
Ｇは、水素原子、又はＣ１～Ｃ６アルキル基を示し、
Ｒ１は、Ｃ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキル基、Ｃ３～Ｃ６シクロアルキル基、Ｃ３～Ｃ６ハロシクロアルキル基、Ｃ２～Ｃ６アルケニル基、Ｃ２～Ｃ６ハロアルケニル基、Ｃ２～Ｃ６アルキニル基、Ｃ２～Ｃ６ハロアルキニル基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシ基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルコキシ基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ３～Ｃ６シクロアルキルＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ３～Ｃ６ハロシクロアルキルＣ１～Ｃ６アルキル基、シアノＣ１～Ｃ６アルキル基、シアノＣ３～Ｃ６シクロアルキル基、シアノＣ３～Ｃ６シクロアルキルＣ１～Ｃ６アルキル基、シアノヘテロシクロアルキル基、ヒドロキシＣ３～Ｃ６シクロアルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルカルボニルオキシＣ３～Ｃ６シクロアルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルスルホニルオキシＣ３～Ｃ６シクロアルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシＣ３～Ｃ６シクロアルキル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルコキシＣ３～Ｃ６シクロアルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルチオＣ３～Ｃ６シクロアルキル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルチオＣ３～Ｃ６シクロアルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルスルフィニルＣ３～Ｃ６シクロアルキル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルスルフィニルＣ３～Ｃ６シクロアルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルスルホニルＣ３～Ｃ６シクロアルキル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルスルホニルＣ３～Ｃ６シクロアルキル基、Ｃ２～Ｃ６アルキニルＣ３～Ｃ６シクロアルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシカルボニルＣ３～Ｃ６シクロアルキル基、カルボキシＣ３～Ｃ６シクロアルキル基、カルバモイルＣ３～Ｃ６シクロアルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルアミノカルボニルＣ３～Ｃ６シクロアルキル基（該アミノ基はＲ１０により置換されてもよい）、Ｃ４～Ｃ８ビシクロアルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシイミノ基、フェニル基（該基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、フェニルＣ１～Ｃ６アルキル基（該フェニル基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、ヘテロアリールＣ１～Ｃ３アルキル基（該ヘテロアリール基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、ヘテロアリールＣ３～Ｃ６シクロアルキル基（該ヘテロアリール基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、ヘテロシクロアルキル基（該基はＲ１０により置換されてもよい）、ヘテロシクロアルキルＣ１～Ｃ６アルキル基（該ヘテロシクロアルキル基はＲ１０により置換されてもよい）、又はヘテロシクロアルキルＣ３～Ｃ６シクロアルキル基（該ヘテロシクロアルキル基はＲ１０により置換されてもよい）を示し、
Ｒ２は、水素原子、Ｃ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキル基、Ｃ３～Ｃ６シクロアルキル基、Ｃ３～Ｃ６ハロシクロアルキル基、Ｃ２～Ｃ６アルケニル基、Ｃ２～Ｃ６ハロアルケニル基、Ｃ２～Ｃ６アルキニル基、Ｃ２～Ｃ６ハロアルキニル基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシ基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルコキシ基、Ｃ３～Ｃ６シクロアルキルＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ３～Ｃ６ハロシクロアルキルＣ１～Ｃ６アルキル基、フェニル基（該基はＲ７

によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、フェニルＣ１～Ｃ６アルキル基（該フェニル基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、ヘテロアリール基（該基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、ヘテロアリールＣ１～Ｃ３アルキル基（該ヘテロアリール基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、シアノ基、シアノＣ１～Ｃ６アルキル基、シアノＣ３～Ｃ６シクロアルキル基、ヒドロキシ基、ヒドロキシＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシＣ１～Ｃ６アルキル基、ホルミル基、アミノ基、Ｃ１～Ｃ６アルキルアミノ基（該アミノ基はＲ１０により置換されてもよい）、Ｃ１～Ｃ６アルキルカルボニル基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシＣ１～Ｃ６アルキルカルボニル基、Ｃ３～Ｃ６シクロアルキルカルボニル基、Ｃ３～Ｃ６シクロアルキルＣ１～Ｃ６アルキルカルボニル基、ベンゾイル基（該基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、Ｃ１～Ｃ６アルコキシカルボニル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルコキシカルボニル基、Ｃ２～Ｃ６アルケニルオキシカルボニル基、カルバモイル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルアミノカルボニル基（該アミノ基はＲ１０により置換されてもよい）、Ｃ１～Ｃ６アルコキシカルボニルＣ１～Ｃ６アルキルアミノ基（該アミノ基はＲ１０により置換されてもよい）、Ｃ１～Ｃ６アルコキシカルボニルアミノ基（該アミノ基はＲ１０により置換されてもよい）、（Ｃ１～Ｃ６アルキルチオ）カルボニル基、（Ｃ１～Ｃ６アルキル）チオカルボニル基、（Ｃ１～Ｃ６アルコキシ）チオカルボニル基、チオカルバモイル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルアミノチオカルボニル基（該アミノ基はＲ１０により置換されてもよい）、Ｃ１～Ｃ６アルキルスルホニル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルスルホニル基、スルファモイル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルアミノスルホニル基（該アミノ基はＲ１０により置換されてもよい）、Ｃ１～Ｃ６アルコキシカルボニルＣ１～Ｃ６アルキル基、アミノカルボニルＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルアミノカルボニルＣ１～Ｃ６アルキル基（該アミノ基はＲ１０により置換されてもよい）、Ｃ３～Ｃ６シクロアルキルアミノカルボニルＣ１～Ｃ６アルキル基（該アミノ基はＲ１０により置換されてもよい）、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルアミノカルボニルＣ１～Ｃ６アルキル基（該アミノ基はＲ１０により置換されてもよい）、Ｃ１～Ｃ６アルキルカルボニルオキシＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルカルボニルＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルカルボニルオキシＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシカルボニルオキシＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシカルボニルアミノＣ１～Ｃ６アルキル基（該アミノ基はＣ１～Ｃ６アルキル基により置換されてもよい）、ヒドロキシイミノ基、ヒドロキシイミノＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシイミノ基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシイミノＣ１～Ｃ６アルキル基、又はＣ１～Ｃ６ハロアルコキシイミノＣ１～Ｃ６アルキル基を示し、又、Ｒ１とＲ２はこれらの結合する窒素原子と共に３～８員のヘテロ環、又は酸素原子、硫黄原子及び窒素原子により選択される１～４個のヘテロ原子を有する３～８員のヘテロ環を形成してもよく、該ヘテロ環はハロゲン原子、シアノ基、ニトロ基、Ｃ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシ基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキル基又はオキソ基によって置換されてもよく、

Ｒ３は、ハロゲン原子、シアノ基、Ｃ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキル基、Ｃ３～Ｃ６シクロアルキル基、又はＣ１～Ｃ６ハロアルコキシ基を示し、

Ｒ４は、水素原子、ハロゲン原子、Ｃ１～Ｃ６アルキル基、又はＣ１～Ｃ６ハロアルキル基を示し、

Ｒ５は、Ｃ２～Ｃ１２アルキル基（該基はＲ６によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、Ｃ３～Ｃ６シクロアルキル基（該基はＲ６によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、Ｃ２～Ｃ６アルケニル基（該基はＲ６によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、又はＣ２～Ｃ６アルキニル基（該基はＲ６によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）を示し、

Ｒ６は、ハロゲン原子、Ｃ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキル基、Ｃ３～Ｃ６シクロアルキル基、Ｃ３～Ｃ６ハロシクロアルキル基、ヒドロキシ基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシ基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルコキシ基、Ｃ３～Ｃ６シクロアルコキシ基、Ｃ３～Ｃ６ハロシクロアルコキシ基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシＣ１～Ｃ６アルコキシ基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルコキシＣ１～Ｃ６アルコキシ基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルコキシＣ１～Ｃ６ハロアルコキシ

基、チオール基、C_1～C_6アルキルチオ基、C_1～C_6ハロアルキルチオ基、C_2～C_6アルケニルチオ基、C_2～C_6ハロアルケニルチオ基、C_3～C_6シクロアルキルチオ基、C_3～C_6ハロシクロアルキルチオ基、C_3～C_6シクロアルキルC_1～C_6アルキルチオ基、C_3～C_6ハロシクロアルキルC_1～C_6アルキルチオ基、トリ（C_1～C_6アルキル）シリルC_1～C_6アルキルチオ基、C_1～C_6アルキルチオC_1～C_6アルコキシ基、C_1～C_6ハロアルキルチオC_1～C_6アルコキシ基、C_1～C_6アルキルスルフィニル基、C_1～C_6ハロアルキルスルフィニル基、C_3～C_6シクロアルキルスルフィニル基、C_3～C_6ハロシクロアルキルスルフィニル基、C_1～C_6アルキルスルホニル基、C_1～C_6ハロアルキルスルホニル基、C_3～C_6シクロアルキルスルホニル基、C_3～C_6ハロシクロアルキルスルホニル基、ホルミル基、C_1～C_6アルキルカルボニル基、C_1～C_6ハロアルキルカルボニル基、ベンゾイル基（該基はR^7によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、C_1～C_6アルコキシカルボニル基、C_1～C_6ハロアルコキシカルボニル基、C_1～C_6アルキルアミノカルボニル基（該アミノ基はR^{10}により置換されてもよい）、C_1～C_6ハロアルキルアミノカルボニル基（該アミノ基はR^{10}により置換されてもよい）、C_1～C_6アルキルアミノカルボニルチオ基（該アミノ基はR^{10}により置換されてもよい）、C_1～C_6ハロアルキルアミノカルボニルチオ基（該アミノ基はR^{10}により置換されてもよい）、ホルミルオキシ基、C_1～C_6アルキルカルボニルオキシ基、C_1～C_6ハロアルキルカルボニルオキシ基、ベンゾイルオキシ基（該基はR^7によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、C_1～C_6アルキルスルフィニルオキシ基、C_1～C_6ハロアルキルスルフィニルオキシ基、C_3～C_6シクロアルキルスルフィニルオキシ基、C_3～C_6ハロシクロアルキルスルフィニルオキシ基、フェニルスルフィニルオキシ基（該基はR^7によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、C_1～C_6アルキルスルホニルオキシ基、C_1～C_6ハロアルキルスルホニルオキシ基、C_3～C_6シクロアルキルスルホニルオキシ基、C_3～C_6ハロシクロアルキルスルホニルオキシ基、フェニルスルホニルオキシ基（該フェニル基はR^7によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、アミノ基、C_1～C_6アルキルアミノ基（該アミノ基はR^{10}により置換されてもよい）、C_1～C_6ハロアルキルアミノ基（該アミノ基はR^{10}により置換されてもよい）、C_1～C_6アルキルカルボニルアミノ基（該アミノ基はR^{10}により置換されてもよい）、C_1～C_6ハロアルキルカルボニルアミノ基（該アミノ基はR^{10}により置換されてもよい）、フェニルカルボニルアミノ基（該フェニル基はR^7によりモノ置換又はポリ置換されてもよく、該アミノ基はR^{10}により置換されてもよい）、C_1～C_6アルコキシカルボニルアミノ基（該アミノ基はR^{10}により置換されてもよい）、C_1～C_6ハロアルコキシカルボニルアミノ基（該アミノ基はR^{10}により置換されてもよい）、C_1～C_6アルキルアミノカルボニルアミノ基（該アミノ基はR^{10}により置換されてもよい）、C_1～C_6ハロアルキルアミノカルボニルアミノ基（該アミノ基はR^{10}により置換されてもよい）、C_1～C_6アルキルスルフィニルアミノ基（該アミノ基はR^{10}により置換されてもよい）、C_1～C_6ハロアルキルスルフィニルアミノ基（該アミノ基はR^{10}により置換されてもよい）、フェニルスルフィニルアミノ基（該フェニル基はR^7によりモノ置換又はポリ置換されてもよく、該アミノ基はR^{10}により置換されてもよい）、C_1～C_6アルキルスルホニルアミノ基（該アミノ基はR^{10}により置換されてもよい）、C_1～C_6ハロアルキルスルホニルアミノ基（該アミノ基はR^{10}により置換されてもよい）、フェニルスルホニルアミノ基（該フェニル基はR^7によりモノ置換又はポリ置換されてもよく、該アミノ基はR^{10}により置換されてもよい）、C_1～C_6アルコキシイミノ基、トリ（C_1～C_6アルキル）シリル基、フェニル基（該基はR^7によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、フェノキシ基（該基はR^7によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、フェニルC_1～C_6アルコキシ基（該フェニル基はR^7によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、フェニルチオ基（該基はR^7によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、フェニルスルフィニル基（該基はR^7によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、フェニルスルホニル基（該基はR^7によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、フェニルC_1～C_6アルキルチオ基（該フェニル基はR^7によりモノ置換又

はポリ置換されてもよい）、フェニルＣ１～Ｃ６アルキルスルフィニル基（該フェニル基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、フェニルＣ１～Ｃ６アルキルスルホニル基（該フェニル基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、－Ｏ－Ｎ＝Ｃ（Ｒ８）（Ｒ９）基、アダマンチル基、アゼチジニル基（該基の窒素原子はＲ１０により置換されてもよい）、ピロリジニル基（該基の窒素原子はＲ１０により置換されてもよい）、ピペリジニル基（該基の窒素原子はＲ１０により置換されてもよい）、１，３－ジオキソラニル基、１，３－ジオキサニル基、ピロリル基（該基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、ピラゾリル基（該基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、イミダゾリル基（該基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、トリアゾリル基（該基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、オキサゾリル基（該基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、イソキサゾリル基（該基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、チアゾリル基（該基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、イソチアゾリル基（該基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、ピリジル基（該基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよく、更に該基の窒素原子が酸化されＮ－オキシドを形成してもよい）、ピリミジニル基（該基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、ピリジルオキシ基（該基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、テトラヒドロフラニル基（該基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、１，３－ジオキソイソインドリニル基（該基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、シアノ基、ニトロ基、カルボキシ基、チオシアナト基、又はアミノオキシ基を示し、

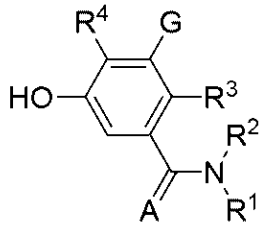
Ｒ７は、ハロゲン原子、Ｃ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキル基、Ｃ３～Ｃ６シクロアルキル基、Ｃ３～Ｃ６ハロシクロアルキル基、Ｃ３～Ｃ６シクロアルキルＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ３～Ｃ６ハロシクロアルキルＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシ基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルコキシ基、Ｃ１～Ｃ６アルキルチオ基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルチオ基、Ｃ１～Ｃ６アルキルスルフィニル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルスルフィニル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルスルホニル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルスルホニル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルチオＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルチオＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルスルホニルオキシ基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルスルホニルオキシ基、フェニル基（該基はハロゲン原子、アルキル基、ハロアルキル基でモノ置換又はポリ置換されてもよい）、フェニルＣ１～Ｃ６アルキル基、フェニルＣ１～Ｃ６アルコキシ基、シアノ基、又はニトロ基を示し、

Ｒ８、Ｒ９は同一又は相異なってもよく、水素原子、Ｃ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキル基、Ｃ３～Ｃ６シクロアルキル基、Ｃ３～Ｃ６ハロシクロアルキル基、又はフェニル基（該基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）を示し、又、Ｒ８とＲ９はこれらの結合する炭素原子と共に３～６員環を形成してもよく、

Ｒ１０は、Ｃ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキル基、Ｃ３～Ｃ６シクロアルキル基、Ｃ３～Ｃ６ハロシクロアルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシ基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルコキシＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシＣ１～Ｃ６アルコキシＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルチオＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルスルフィニルＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルスルホニルＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルチオＣ１～Ｃ６アルコキシＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルスルフィニルＣ１～Ｃ６アルコキシＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルスルホニルＣ１～Ｃ６アルコキシＣ１～Ｃ６アルキル基、シアノＣ１～Ｃ６アルキル基、シアノＣ１～Ｃ６アルコキシＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルカルボニル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルカルボニル基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシカルボニル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルコキシカルボニル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルアミノカルボニル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルアミノカルボニル基、ベンゾイル基（該基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、Ｃ１～Ｃ６アルキルスルホニル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルスルホニル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルカルボニルＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシカルボニルＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルアミノカル

ボニルＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルカルボニルオキシＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシカルボニルオキシＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシカルボニルアミノＣ１～Ｃ６アルキル基（該アミノ基はＣ１～Ｃ６アルキル基により置換されてもよい）、又は５－メチル－１，３－ジオキソール－２－オン－４－イルメチル基を示す］
で表される３－アルコキシ安息香酸アミド誘導体、又はその農業上許容される塩。
【請求項２】
請求項１に記載の３－アルコキシ安息香酸アミド誘導体、又はその農業上許容される塩を有効成分として含有する農薬組成物。
【請求項３】
農薬組成物が、さらに界面活性剤を含有する請求項２に記載の農薬組成物。
【請求項４】
請求項１に記載の３－アルコキシ安息香酸アミド誘導体、又はその農業上許容される塩を活性成分として含有する有害生物防除剤。
【請求項５】
有害生物防除剤が、殺虫剤、殺センチュウ剤及び殺ダニ剤である請求項４に記載の有害生物防除剤。
【請求項６】
農園芸用植物を栽培する水田、畑地、芝地、果樹園、非農耕地、温室、育苗施設、植物工場における有害生物に対して、防除効力を有する請求項５に記載の有害生物防除剤。
【請求項７】
農園芸用植物が、育種法又は遺伝子組換え技術により耐性を付与された植物である請求項６に記載の有害生物防除剤。
【請求項８】
請求項１に記載の３－アルコキシ安息香酸アミド誘導体、又はその農業上許容される塩の有効成分量を使用する有害生物の防除方法。
【請求項９】
請求項１に記載の３－アルコキシ安息香酸アミド誘導体、又はその農業上許容される塩を有効成分として含有する農薬組成物を、農園芸用作物または農園芸用作物を生育させようとする若しくは生育している場所に対して、同時に又は分割して作用させることによる、有害生物の防除方法。
【請求項１０】
有害生物防除剤を施用する場所が、水田、畑地、芝地、果樹園、非農耕地、温室、育苗施設、植物工場である請求項８又は９に記載の有害生物の防除方法。
【請求項１１】
請求項１に記載の３－アルコキシ安息香酸アミド誘導体、又はその農業上許容される塩を殺虫剤、殺センチュウ剤及び殺ダニ剤として使用する請求項８～１０のいずれかに記載の有害生物の防除方法。
【請求項１２】
請求項４～７のいずれかに記載の有害生物防除剤を、農園芸用作物に対する有害生物を防除に使用する記載の有害生物防除剤の使用方法。
【請求項１３】
一般式［ＩＩ］

【化２】



［ＩＩ］

［式中、
Ａは、酸素原子又は硫黄原子を示し、
Ｇは、水素原子、又はＣ１～Ｃ６アルキル基を示し、
Ｒ１は、Ｃ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキル基、Ｃ３～Ｃ６シクロアルキル基、Ｃ３～Ｃ６ハロシクロアルキル基、Ｃ２～Ｃ６アルケニル基、Ｃ２～Ｃ６ハロアルケニル基、Ｃ２～Ｃ６アルキニル基、Ｃ２～Ｃ６ハロアルキニル基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシ基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルコキシ基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ３～Ｃ６シクロアルキルＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ３～Ｃ６ハロシクロアルキルＣ１～Ｃ６アルキル基、シアノＣ１～Ｃ６アルキル基、シアノＣ３～Ｃ６シクロアルキル基、シアノＣ３～Ｃ６シクロアルキルＣ１～Ｃ６アルキル基、シアノヘテロシクロアルキル基、ヒドロキシＣ３～Ｃ６シクロアルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルカルボニルオキシＣ３～Ｃ６シクロアルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルスルホニルオキシＣ３～Ｃ６シクロアルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシＣ３～Ｃ６シクロアルキル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルコキシＣ３～Ｃ６シクロアルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルチオＣ３～Ｃ６シクロアルキル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルチオＣ３～Ｃ６シクロアルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルスルフィニルＣ３～Ｃ６シクロアルキル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルスルフィニルＣ３～Ｃ６シクロアルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルスルホニルＣ３～Ｃ６シクロアルキル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルスルホニルＣ３～Ｃ６シクロアルキル基、Ｃ２～Ｃ６アルキニルＣ３～Ｃ６シクロアルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシカルボニルＣ３～Ｃ６シクロアルキル基、カルボキシＣ３～Ｃ６シクロアルキル基、カルバモイルＣ３～Ｃ６シクロアルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルアミノカルボニルＣ３～Ｃ６シクロアルキル基（該アミノ基はＲ１０により置換されてもよい）、Ｃ４～Ｃ８ビシクロアルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシイミノ基、フェニル基（該基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、フェニルＣ１～Ｃ６アルキル基（該フェニル基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、ヘテロアリールＣ１～Ｃ３アルキル基（該ヘテロアリール基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、ヘテロアリールＣ３～Ｃ６シクロアルキル基（該ヘテロアリール基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、ヘテロシクロアルキル基（該基はＲ１０により置換されてもよい）、ヘテロシクロアルキルＣ１～Ｃ６アルキル基（該ヘテロシクロアルキル基はＲ１０により置換されてもよい）、又はヘテロシクロアルキルＣ３～Ｃ６シクロアルキル基（該ヘテロシクロアルキル基はＲ１０により置換されてもよい）を示し、
Ｒ２は、水素原子、Ｃ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキル基、Ｃ３～Ｃ６シクロアルキル基、Ｃ３～Ｃ６ハロシクロアルキル基、Ｃ２～Ｃ６アルケニル基、Ｃ２～Ｃ６ハロアルケニル基、Ｃ２～Ｃ６アルキニル基、Ｃ２～Ｃ６ハロアルキニル基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシ基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルコキシ基、Ｃ３～Ｃ６シクロアルキルＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ３～Ｃ６ハロシクロアルキルＣ１～Ｃ６アルキル基、フェニル基（該基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、フェニルＣ１～Ｃ６アルキル基（該フェニル基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、ヘテロアリール基（該基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、ヘテロアリールＣ１～Ｃ３アルキル基（該ヘテロアリール基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、シアノ基、シアノＣ１～Ｃ６アルキル基、シアノＣ３～Ｃ６シクロアルキル基、ヒドロキシ基、ヒドロキシ

Ｃ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシＣ１～Ｃ６アルキル基、ホルミル基、アミノ基、Ｃ１～Ｃ６アルキルアミノ基（該アミノ基はＲ１０により置換されてもよい）、Ｃ１～Ｃ６アルキルカルボニル基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシＣ１～Ｃ６アルキルカルボニル基、Ｃ３～Ｃ６シクロアルキルカルボニル基、Ｃ３～Ｃ６シクロアルキルＣ１～Ｃ６アルキルカルボニル基、ベンゾイル基（該基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、Ｃ１～Ｃ６アルコキシカルボニル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルコキシカルボニル基、Ｃ２～Ｃ６アルケニルオキシカルボニル基、カルバモイル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルアミノカルボニル基（該アミノ基はＲ１０により置換されてもよい）、Ｃ１～Ｃ６アルコキシカルボニルＣ１～Ｃ６アルキルアミノ基（該アミノ基はＲ１０により置換されてもよい）、Ｃ１～Ｃ６アルコキシカルボニルアミノ基（該アミノ基はＲ１０により置換されてもよい）、（Ｃ１～Ｃ６アルキルチオ）カルボニル基、（Ｃ１～Ｃ６アルキル）チオカルボニル基、（Ｃ１～Ｃ６アルコキシ）チオカルボニル基、チオカルバモイル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルアミノチオカルボニル基（該アミノ基はＲ１０により置換されてもよい）、Ｃ１～Ｃ６アルキルスルホニル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルスルホニル基、スルファモイル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルアミノスルホニル基（該アミノ基はＲ１０により置換されてもよい）、Ｃ１～Ｃ６アルコキシカルボニルＣ１～Ｃ６アルキル基、アミノカルボニルＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルアミノカルボニルＣ１～Ｃ６アルキル基（該アミノ基はＲ１０により置換されてもよい）、Ｃ３～Ｃ６シクロアルキルアミノカルボニルＣ１～Ｃ６アルキル基（該アミノ基はＲ１０により置換されてもよい）、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルアミノカルボニルＣ１～Ｃ６アルキル基（該アミノ基はＲ１０により置換されてもよい）、Ｃ１～Ｃ６アルキルカルボニルＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルカルボニルＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルカルボニルオキシＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシカルボニルオキシＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシカルボニルアミノＣ１～Ｃ６アルキル基（該アミノ基はＣ１～Ｃ６アルキル基により置換されてもよい）、ヒドロキシイミノ基、ヒドロキシイミノＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシイミノ基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシイミノＣ１～Ｃ６アルキル基、又はＣ１～Ｃ６ハロアルコキシイミノＣ１～Ｃ６アルキル基を示し、又、Ｒ１とＲ２はこれらの結合する窒素原子と共に３～８員のヘテロ環、又は酸素原子、硫黄原子及び窒素原子により選択される１～４個のヘテロ原子を有する３～８員のヘテロ環を形成してもよく、該ヘテロ環はハロゲン原子、シアノ基、ニトロ基、Ｃ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシ基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキル基又はオキソ基によって置換されてもよく、

Ｒ３は、ハロゲン原子、シアノ基、Ｃ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキル基、Ｃ３～Ｃ６シクロアルキル基、又はＣ１～Ｃ６ハロアルコキシ基を示し、

Ｒ４は、水素原子、ハロゲン原子、Ｃ１～Ｃ６アルキル基、又はＣ１～Ｃ６ハロアルキル基を示し、

Ｒ７は、ハロゲン原子、Ｃ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキル基、Ｃ３～Ｃ６シクロアルキル基、Ｃ３～Ｃ６ハロシクロアルキル基、Ｃ３～Ｃ６シクロアルキルＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ３～Ｃ６ハロシクロアルキルＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシ基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルコキシ基、Ｃ１～Ｃ６アルキルチオ基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルチオ基、Ｃ１～Ｃ６アルキルスルフィニル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルスルフィニル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルスルホニル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルスルホニル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルチオＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルチオＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルスルホニルオキシ基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルスルホニルオキシ基、フェニル基（該基はハロゲン原子、アルキル基、ハロアルキル基でモノ置換又はポリ置換されてもよい）、フェニルＣ１～Ｃ６アルキル基、フェニルＣ１～Ｃ６アルコキシ基、シアノ基、又はニトロ基を示し、

Ｒ１０は、Ｃ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキル基、Ｃ３～Ｃ６シクロアルキル基、Ｃ３～Ｃ６ハロシクロアルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシ基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルコキシＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシＣ１～Ｃ６アルコキシＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルチオＣ１～Ｃ６

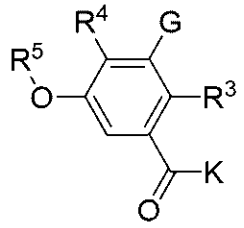
アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルスルフィニルＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルスルホニルＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルチオ Ｃ１～Ｃ６アルコキシＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルスルフィニルＣ１～Ｃ６アルコキシＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルスルホニルＣ１～Ｃ６アルコキシＣ１～Ｃ６アルキル基、シアノＣ１～Ｃ６アルキル基、シアノＣ１～Ｃ６アルコキシＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルカルボニル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルカルボニル基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシカルボニル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルコキシカルボニル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルアミノカルボニル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルアミノカルボニル基、ベンゾイル基（該基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、Ｃ１～Ｃ６アルキルスルホニル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルスルホニル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルカルボニルＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシカルボニルＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルアミノカルボニルＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルカルボニルオキシＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシカルボニルオキシＣ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシカルボニルアミノＣ１～Ｃ６アルキル基（該アミノ基はＣ１～Ｃ６アルキル基により置換されてもよい）、又は５－メチル－１，３－ジオキソール－２－オン－４－イルメチル基を示す］

で表されるヒドロキシ安息香酸アミド誘導体、又はその塩。

【請求項１４】

一般式［ＩＩＩ］

【化３】



［Ⅲ］

［式中、

Ｇは、水素原子、又はＣ１～Ｃ６アルキル基を示し、

Ｋは、ヒドロキシ基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシ基、又はフェノキシ基（該基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）を示し、

Ｒ３は、ハロゲン原子、シアノ基、Ｃ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキル基、Ｃ３～Ｃ６シクロアルキル基、又はＣ１～Ｃ６ハロアルコキシ基を示し、

Ｒ４は、水素原子、ハロゲン原子、Ｃ１～Ｃ６アルキル基、又はＣ１～Ｃ６ハロアルキル基を示し、

Ｒ５は、Ｃ２～Ｃ１２アルキル基（該基はＲ６によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、Ｃ３～Ｃ６シクロアルキル基（該基はＲ６によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、Ｃ２～Ｃ６アルケニル基（該基はＲ６によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、又はＣ２～Ｃ６アルキニル基（該基はＲ６によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）を示し、

Ｒ６は、ハロゲン原子、Ｃ１～Ｃ６アルキル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキル基、Ｃ３～Ｃ６シクロアルキル基、Ｃ３～Ｃ６ハロシクロアルキル基、ヒドロキシ基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシ基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルコキシ基、Ｃ３～Ｃ６シクロアルコキシ基、Ｃ３～Ｃ６ハロシクロアルコキシ基、Ｃ１～Ｃ６アルコキシＣ１～Ｃ６アルコキシ基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルコキシＣ１～Ｃ６アルコキシ基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルコキシＣ１～Ｃ６ハロアルコキシ基、チオール基、Ｃ１～Ｃ６アルキルチオ基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルチオ基、Ｃ２～Ｃ６アルケニルチオ基、Ｃ２～Ｃ６ハロアルケニルチオ基、Ｃ３～Ｃ６シクロアルキルチオ基、Ｃ３～Ｃ６ハロシクロアルキルチオ基、Ｃ３～Ｃ６シクロアルキルＣ１～Ｃ６アルキ

ルチオ基、Ｃ３～Ｃ６ハロシクロアルキルＣ１～Ｃ６アルキルチオ基、トリ（Ｃ１～Ｃ６アルキル）シリルＣ１～Ｃ６アルキルチオ基、Ｃ１～Ｃ６アルキルチオＣ１～Ｃ６アルコキシ基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルチオＣ１～Ｃ６アルコキシ基、Ｃ１～Ｃ６アルキルスルフィニル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルスルフィニル基、Ｃ３～Ｃ６シクロアルキルスルフィニル基、Ｃ３～Ｃ６ハロシクロアルキルスルフィニル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルスルホニル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルスルホニル基、Ｃ３～Ｃ６シクロアルキルスルホニル基、Ｃ３～Ｃ６ハロシクロアルキルスルホニル基、ホルミル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルカルボニル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルカルボニル基、ベンゾイル基（該基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、Ｃ１～Ｃ６アルコキシカルボニル基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルコキシカルボニル基、Ｃ１～Ｃ６アルキルアミノカルボニル基（該アミノ基はＲ１０により置換されてもよい）、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルアミノカルボニル基（該アミノ基はＲ１０により置換されてもよい）、Ｃ１～Ｃ６アルキルアミノカルボニルチオ基（該アミノ基はＲ１０により置換されてもよい）、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルアミノカルボニルチオ基（該アミノ基はＲ１０により置換されてもよい）、ホルミルオキシ基、Ｃ１～Ｃ６アルキルカルボニルオキシ基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルカルボニルオキシ基、ベンゾイルオキシ基（該基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、Ｃ１～Ｃ６アルキルスルフィニルオキシ基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルスルフィニルオキシ基、Ｃ３～Ｃ６シクロアルキルスルフィニルオキシ基、Ｃ３～Ｃ６ハロシクロアルキルスルフィニルオキシ基、フェニルスルフィニルオキシ基（該基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、Ｃ１～Ｃ６アルキルスルホニルオキシ基、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルスルホニルオキシ基、Ｃ３～Ｃ６シクロアルキルスルホニルオキシ基、Ｃ３～Ｃ６ハロシクロアルキルスルホニルオキシ基、フェニルスルホニルオキシ基（該フェニル基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、アミノ基、Ｃ１～Ｃ６アルキルアミノ基（該アミノ基はＲ１０により置換されてもよい）、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルアミノ基（該アミノ基はＲ１０により置換されてもよい）、Ｃ１～Ｃ６アルキルカルボニルアミノ基（該アミノ基はＲ１０により置換されてもよい）、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルカルボニルアミノ基（該アミノ基はＲ１０により置換されてもよい）、フェニルカルボニルアミノ基（該フェニル基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよく、該アミノ基はＲ１０により置換されてもよい）、Ｃ１～Ｃ６アルコキシカルボニルアミノ基（該アミノ基はＲ１０により置換されてもよい）、Ｃ１～Ｃ６ハロアルコキシカルボニルアミノ基（該アミノ基はＲ１０により置換されてもよい）、Ｃ１～Ｃ６アルキルアミノカルボニルアミノ基（該アミノ基はＲ１０により置換されてもよい）、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルアミノカルボニルアミノ基（該アミノ基はＲ１０により置換されてもよい）、Ｃ１～Ｃ６アルキルスルフィニルアミノ基（該アミノ基はＲ１０により置換されてもよい）、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルスルフィニルアミノ基（該アミノ基はＲ１０により置換されてもよい）、フェニルスルフィニルアミノ基（該フェニル基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよく、該アミノ基はＲ１０により置換されてもよい）、Ｃ１～Ｃ６アルキルスルホニルアミノ基（該アミノ基はＲ１０により置換されてもよい）、Ｃ１～Ｃ６ハロアルキルスルホニルアミノ基（該アミノ基はＲ１０により置換されてもよい）、フェニルスルホニルアミノ基（該フェニル基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよく、該アミノ基はＲ１０により置換されてもよい）、Ｃ１～Ｃ６アルコキシイミノ基、トリ（Ｃ１～Ｃ６アルキル）シリル基、フェニル基（該基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、フェノキシ基（該基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、フェニルＣ１～Ｃ６アルコキシ基（該フェニル基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、フェニルチオ基（該基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、フェニルスルフィニル基（該基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、フェニルスルホニル基（該基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、フェニルＣ１～Ｃ６アルキルチオ基（該フェニル基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、フェニルＣ１～Ｃ６アルキルスルフィニル基（該フェニル基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、フェニルＣ１～Ｃ６アルキルスルホニル基（該フェニル基はＲ７によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、－Ｏ－Ｎ＝Ｃ

（R^8）（R^9）基、アダマンチル基、アゼチジニル基（該基の窒素原子はR^{10}により置換されてもよい）、ピロリジニル基（該基の窒素原子はR^{10}により置換されてもよい）、ピペリジニル基（該基の窒素原子はR^{10}により置換されてもよい）、１，３－ジオキソラニル基、１，３－ジオキサニル基、ピロリル基（該基はR^7によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、ピラゾリル基（該基はR^7によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、イミダゾリル基（該基はR^7によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、トリアゾリル基（該基はR^7によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、オキサゾリル基（該基はR^7によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、イソキサゾリル基（該基はR^7によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、チアゾリル基（該基はR^7によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、イソチアゾリル基（該基はR^7によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、ピリジル基（該基はR^7によりモノ置換又はポリ置換されてもよく、更に該基の窒素原子が酸化されＮ－オキシドを形成してもよい）、ピリミジニル基（該基はR^7によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、ピリジルオキシ基（該基はR^7によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、テトラヒドロフラニル基（該基はR^7によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、１，３－ジオキソイソインドリニル基（該基はR^7によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、シアノ基、ニトロ基、カルボキシ基、チオシアナト基、又はアミノオキシ基を示し、

R^7は、ハロゲン原子、C_1～C_6アルキル基、C_1～C_6ハロアルキル基、C_3～C_6シクロアルキル基、C_3～C_6ハロシクロアルキル基、C_3～C_6シクロアルキルC_1～C_6アルキル基、C_3～C_6ハロシクロアルキルC_1～C_6アルキル基、C_1～C_6アルコキシ基、C_1～C_6ハロアルコキシ基、C_1～C_6アルキルチオ基、C_1～C_6ハロアルキルチオ基、C_1～C_6アルキルスルフィニル基、C_1～C_6ハロアルキルスルフィニル基、C_1～C_6アルキルスルホニル基、C_1～C_6ハロアルキルスルホニル基、C_1～C_6アルキルチオC_1～C_6アルキル基、C_1～C_6ハロアルキルチオC_1～C_6アルキル基、C_1～C_6アルキルスルホニルオキシ基、C_1～C_6ハロアルキルスルホニルオキシ基、フェニル基（該基はハロゲン原子、アルキル基、ハロアルキル基でモノ置換又はポリ置換されてもよい）、フェニルC_1～C_6アルキル基、フェニルC_1～C_6アルコキシ基、シアノ基、又はニトロ基を示し、

R^8、R^9は同一又は相異なってもよく、水素原子、C_1～C_6アルキル基、C_1～C_6ハロアルキル基、C_3～C_6シクロアルキル基、C_3～C_6ハロシクロアルキル基、又はフェニル基（該基はR^7によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）を示し、又、R^8とR^9はこれらの結合する炭素原子と共に３～６員環を形成してもよく、

R^{10}は、C_1～C_6アルキル基、C_1～C_6ハロアルキル基、C_3～C_6シクロアルキル基、C_3～C_6ハロシクロアルキル基、C_1～C_6アルコキシ基、C_1～C_6アルコキシC_1～C_6アルキル基、C_1～C_6ハロアルコキシC_1～C_6アルキル基、C_1～C_6アルコキシC_1～C_6アルコキシC_1～C_6アルキル基、C_1～C_6アルキルチオC_1～C_6アルキル基、C_1～C_6アルキルスルフィニルC_1～C_6アルキル基、C_1～C_6アルキルスルホニルC_1～C_6アルキル基、C_1～C_6アルキルチオC_1～C_6アルコキシC_1～C_6アルキル基、C_1～C_6アルキルスルフィニルC_1～C_6アルコキシC_1～C_6アルキル基、C_1～C_6アルキルスルホニルC_1～C_6アルコキシC_1～C_6アルキル基、シアノC_1～C_6アルキル基、シアノC_1～C_6アルコキシC_1～C_6アルキル基、C_1～C_6アルキルカルボニル基、C_1～C_6ハロアルキルカルボニル基、C_1～C_6アルコキシカルボニル基、C_1～C_6ハロアルコキシカルボニル基、C_1～C_6アルキルアミノカルボニル基、C_1～C_6ハロアルキルアミノカルボニル基、ベンゾイル基（該基はR^7によりモノ置換又はポリ置換されてもよい）、C_1～C_6アルキルスルホニル基、C_1～C_6ハロアルキルスルホニル基、C_1～C_6アルキルカルボニルC_1～C_6アルキル基、C_1～C_6アルコキシカルボニルC_1～C_6アルキル基、C_1～C_6アルキルアミノカルボニルC_1～C_6アルキル基、C_1～C_6アルキルカルボニルオキシC_1～C_6アルキル基、C_1～C_6アルコキシカルボニルオキシC_1～C_6アルキル基、C_1～C_6アルコキシカルボニルアミノC_1～C_6アルキル基（該アミノ基はC_1～C_6アルキル基により置

換されてもよい）、又は５－メチル－１，３－ジオキソール－２－オン－４－イルメチル基を示す]

で表されるアルコキシ安息香酸誘導体、又はその塩。